

令和3年度加古川市スポーツ推進審議会  
議案にかかる説明資料

**加古川市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について（資料1ページ）**

報告事項及び議案に入ります前に、委員の交代について説明するものです。

関係行政機関職員として委員に任命しておりました加古川市中学校体育連盟会長の工藤昌彦氏が令和3年3月31日付でご退職されましたので、委員の解任をしました。任期途中での解任となり、欠員が生じたので、加古川市スポーツ推進審議会条例第3条第1項及び第3項に基づき、工藤氏の後任として加古川市中学校体育連盟会長を務められる山手中学校長の長谷中 史敏氏を令和3年4月1日付で委員として任命しました。

**報告事項1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る本市の取組状況について（資料なし）**

＜オリンピック関連について＞

加古川市では、7月23日から8月8日に開催されるオリンピックの前にはツバルの陸上競技選手が加古川市内の陸上競技場を利用し事前合宿を行う予定となっています。

＜パラリンピック関連について＞

8月14日（土）に聖火イベント、15日（日）に障がい者スポーツを体験できる「かこパラスポーツ王国」を開催予定です。なお、8月24日から9月5日開催のパラリンピック前にブラジルのシッティングバレーボールチームが加古川市で事前合宿を行う予定となっておりますが、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底のためブラジルパラリンピック委員会の判断で、浜松市のみで事前合宿を行うことになりました。応援メッセージを作成し選手たちに届けるなど、引き続きホストタウンとしての活動は行っています。

新型コロナウイルス感染拡大が心配されますが、現時点では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け準備が進んでおります。開催の際には両国の選手の応援をよろしくお願いいたします。

**議案第1号 加古川市体育協会への補助金の交付について（資料2～10ページ）**

令和3年度加古川市体育協会への補助金の交付について、承認を得るものです。

加古川市がスポーツ団体に補助金を交付する場合、スポーツ推進審議会の意見を聴くこととなっております。その根拠としては資料2ページのスポーツ基本法第34条及び第35条に基づいております。

なお、第35条中の社会教育団体とは「社会教育法で、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。」と定められております。

昨年度までは、スポーツの振興に関する事務が教育委員会の所管であったため、社会教育法に基づき、例年、社会教育委員会にて補助金の交付に対するご意見をお伺いしておりましたが、

今年度から市長部局に所管が移ったことからスポーツ推進審議会にて補助金の交付について、ご意見をお伺いするものです。

<補助金の交付団体について>資料 2、3 ページ

資料 2、3 ページをご覧ください。加古川市体育協会は、市内で活動する各種目協会を統括している団体で、現在 27 の種目協会が加盟し、約 13,000 人の会員を有しています。スポーツの普及や競技スポーツの強化等を図ることにより、市民のスポーツ振興に務め、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として活動しております。本会の事業を補助することで、市民のスポーツ活動の向上効果が期待できると考えております。

<令和 3 年度の事業費について>資料 2 ページ

事業費 2,023 千円のうち、市の補助金として 1,821 千円、団体経費として 202 千円となっております。

<事業内容について>資料 2 ページ

協会が行うスポーツの普及・振興を目的とする事業として、(2)に記載の 4 つの事業、種目協会支援事業、健康・体力づくり事業、表彰育成事業、国体出場者等激励会費を予定しております。

## 議案第 2 号 女性のスポーツ参画に向けた取組について (資料 1 1 ~ 2 9 ページ)

前回の審議会でご検討いただきました「女性のスポーツに関するアンケート調査」の実施報告です。アンケート結果を参考に女性のスポーツに関する取り組みを行うにあたり、ご意見をお伺いするものです。

<女性のスポーツに関するアンケート調査>資料 1 1 ページ

加古川市スポーツ推進計画に掲げられた施策の 1 つであり、現在本市では事業が実施できておらず課題となっている女性がスポーツに参画しやすい環境整備を行うため、女性、なかでもスポーツ実施率が低い子育て世代の女性の方々を中心としたニーズ把握を目的にアンケート調査を実施いたしました。

調査期間は令和 3 年 1 月 1 9 日から 2 月 1 8 日まで、調査方法は、加古川駅南・東加古川子育てプラザ、市内の公共スポーツ施設、各公民館に設置したアンケート用紙や加古川市ホームページのアンケート募集ページから回答をしていただき、結果として、1,008 名の方から回答がありました。

以下については、寄せられた意見のなかで特に着目した点を抜粋して説明いたします。

<アンケート結果 スポーツ実施状況について>

資料 1 3 ページの質問 4 にてスポーツ実施状況について質問を行い、週 1 日以上スポーツ(運動)を行っている方は 52%となり半数以上でした。資料 1 4 ページの質問 6 では、スポーツを続ける工夫について質問を行い、通勤を徒歩で行うことや動画サイトを利用し短時間で運動するなど、無理なく継続できる内容についての意見が数多く寄せられました。

一方で、資料 1 8 ページの質問 1 1 にてあまり運動をしない(できない)理由について質問

を行うと、仕事や育児などで時間がないという意見が 63%を占めており、質問6での意見を参考として、運動をしない（できない）方へのアプローチの方法を考える必要があります。

#### <アンケート結果 スポーツ（運動）に対するご意見について>

資料19、20ページの質問13にて、市のスポーツ情報が発信されていることを、知っている人は約51%で、その多くが広報かこがわから取得されていました。約50%の人が公共スポーツ施設の利用情報を求められていました。資料21～25ページの自由記述の意見では、施設等の整備やスポーツ教室の充実に関する事など数多くの意見が寄せられました。

資料26ページからは今回のニーズ把握の中心である子育て世代(20代～40代)に着目し、アンケートの集計を行いました。

#### <スポーツ実施率が低い子育て世代の状況について>

アンケート回答者については、全体(1,008名)のうち753名でした。

次に、資料28ページ中の子育て世代の週に1日以上のスポーツ実施率は43%であり、他の世代と比較すると主に仕事や育児などで時間がないという理由から、4割程度低い結果となりました。また、実施されているスポーツについては、健康・体力づくりや気分転換やストレス解消を目的にウォーキングやストレッチなど軽度で、ひとりや家族で実施するスポーツが行われていることが分かりました。

これらの結果により、全体での週1日以上<sup>の</sup>スポーツ実施率は半数を超える数値であります。が、子育て世代のみに注目すると低い値となったことから、全体の実施率を向上させるために、子育て世代へのアプローチが必要となることが分かりました。

子育て世代のニーズとしては、自由記述等からの意見から、手軽で子連れでも参加することができるような運動プログラムや教室が挙げられます。その他、新型コロナウイルス感染症の影響により自宅周辺でできる運動や動画配信サイトの活用が増加傾向にあるため、それらを推奨できるような取組を考える必要があります。

以上のほか、アンケート結果全体を踏まえて、女性のスポーツ参画しやすい環境整備についてご意見をお願いします。

### 議案第3号 加古川市スポーツ推進計画関連事業の進捗状況について（別紙A3資料）

加古川市スポーツ推進計画に基づき実施した関連事業の進捗報告です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度に予定していた事業については、多くが開催の延期や中止となっております。また、令和3年度の実施予定事業についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ実施について検討していきます。

スポーツ関連事業の実施が困難な状況が続きますが、加古川市スポーツ推進計画に掲げられた施策や指標達成に向け、ご意見をお伺いするものです。